

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 びわ湖芸術文化財団
公演団体名	びわ湖ホール声楽アンサンブル

内容
<p>ワークショップ「ふれあい音楽教室」</p> <p>歌手2人とピアニスト1人が学校に赴き、ミニコンサートや歌唱指導などの実演を交えて、「歌」全般についてわかりやすい授業を行います。</p> <p>また、本公演で行う合同演奏や歌詞についての事前指導を行い、理解を深めて公演当日への期待を膨らませます。</p> <ul style="list-style-type: none">◆校歌演奏◆お話<ul style="list-style-type: none">・自己紹介 — “歌うこと” が仕事だということ。◆声の特徴を聴いてみよう<ul style="list-style-type: none">・オペラアリア（男声・女声それぞれ） — 何語で歌ったでしょう？などクイズも交えて・日本語の歌◆“日本のうた”をもっと知ろう<ul style="list-style-type: none">・本公演で演奏する主な曲紹介等— 発声の仕方、歌う姿勢なども指導◆質問コーナー <p>*使用備品：ピアノのみ</p> <p>*歌い方等の指導の際、本来は児童生徒の歌い方などをみて課題を指導することが最も効果が高い指導ができますが、コロナ対応として児童生徒には歌ってもらわず、多くの学校で課題となることが多いポイントについて指導、アドバイスをを行います。</p>

タイムスケジュール（標準）
開始1時間前～ リハーサル・ウォーミングアップ *会場設営等はありません。
各校希望時間 ワークショップ開始

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
主指導者 1人 補助者 4人（歌手1人、ピアニスト1人、スタッフ2人）
合計 5人

学校における事前指導
特になし

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 びわ湖芸術文化財団
公演団体名	びわ湖ホール声楽アンサンブル

演目	
◆オープニング 故郷（唱歌／作詞：高野辰之作詞 作曲：岡野貞一）	
◆校歌 各校校歌演奏	
◆声の特徴を聴いてみよう ほたるこい（童謡／女声合唱） 箱根八里（唱歌／作詞：鳥居 忱 作曲：滝 廉太郎／男声合唱）	
◆日本の四季 唱歌メドレー “さくら ～ 鯉のぼり ～ ちいさい秋みつけた ～ 雪”	
◆歌詞に込められた思いを感じてみよう 世界に一つだけの花（J-POP／SMAP・槇原敬之）	
小学校	中学校
ともだちになるために（童謡／手話付き）	花は咲く（東日本大震災復興支援ソング）
ふるさと（J-POP／嵐-ARASHI-）	
◆アンコール	
小学校	中学校
となりのトトロ （ジブリ映画「となりのトトロ」より）	フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ
*演奏曲は各校のリクエストにも対応いたします。	
【コロナ対策】 *密集を避けて、1回の公演時間を約40分程度に短縮します。 （児童生徒が歌う、合同演奏や歌唱指導のプログラムを回避します。）	

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください	
出演者	10人（歌手8人、ピアニスト1人、司会・進行1人）
スタッフ	2人
合計	12人

タイムスケジュール（標準）					
到着	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
10:30	11:00～12:30	13:00～15:00	—	15:10～15:30	15:45
※実施時間関しては、要相談					

実施校への協力依頼人員
<p>「ともだちになるために」を演奏する際に、手話を付けて歌います。</p> <p>出演者が手本を行います。手話が得意な生徒さんや先生にも前に出て一緒にお手本を示していただければ有難いです。（必須ではありませんのでご無理のない範囲で結構です。）</p>

演目解説
<p>私たちには、日本の美しい自然と情景、そしてそこに暮らす人々のきめ細やかな心情として歌い継がれてきた日本の心の歌があります。懐かしい原風景を思い起こさせてくれる童謡や唱歌は、世代を超えていつの時代にも愛されてきました。また、その心を受け継いで生まれてくる新しい日本の歌や、時代を映して人々の心に寄り添う歌も、きっと後世に歌い継がれていくことでしょう。</p> <p>そんな次世代に歌い継いでいきたい美しい日本のうたを、みなさんの心に届けます。</p> <p>◆オープニング いまも幅広い層に愛され続けている「故郷」で幕を開けます。 ア・カペラの混声四部合唱で、みなさんを「日本のうた」の世界に惹き込みます。</p> <p>◆校歌 普段から慣れ親しんでいる校歌を、プロの音楽家が歌うとどのように聴こえるのか、どうぞお楽しみに。</p> <p>◆声の特徴を聴いてみよう ソプラノ、アルト、テノール、バス。それぞれの声の特徴と、女声合唱、男声合唱の聴こえ方を紹介します。また、曲のなかでそれぞれの音域を活かした表現や効果的な独唱をもつ曲を演奏し、各声種の役割を感じていただきます。</p> <p>◆日本の四季 日本独自の文化を育んできた四季。それぞれの季節を代表する曲や四季をモチーフにした情感豊かな歌を通じて、季節に思いを巡らせましょう。</p>

◆歌詞に込められた思いを感じてみよう

人の心に深く残り、愛され続ける歌は童謡や唱歌ではありません。現代に新しく生まれてきた曲にも、これからも永く歌い継がれるであろう歌がたくさんあります。そのなかから「世界に一つだけの花」「ふるさと（嵐-ARASHI-の楽曲）」を混声四部合唱で演奏します。普段テレビなどで聴いている曲とは少し違った、合唱の魅力を感じていただきます。

また、これに加えて、小学校では「ともだちになるために」を手話も付けて一緒に歌います。中学校では、「花は咲く」を演奏します。どの曲も、歌詞に込められた思いを十分に感じていただけるよう解説し、心を込めて演奏します。

◆アンコール

締めくくりのセレモニーなどの後に、アンコールとして1曲演奏して退場します。小学校では「となりのトトロ」を演奏します。寺嶋陸也編曲のピアノ伴奏にもぜひ注目していただきたいです。

中学校では、明るく力強いイタリアの歌曲「フニクリ・フニクラ」を演奏します。輝かしいテノールソロに加え、後半では日本語の替え歌に振付もつけて盛り上げます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

全員が日頃から親しんでいる校歌の演奏をし、普段の聴こえ方との違いを実感していただきます。プロの音楽家を身近に感じて、歌うことを楽しく感じ、目標を持つ一助になるようにします。

児童生徒とのふれあい

各演奏曲の特徴を生かして、歌手それぞれが距離を問わずに児童・生徒一人ひとりに歌いかけます。歌唱指導・合同演奏では、状況が許せば、みなさんの近くに行き、コミュニケーションを取りながら行います。